

三井住友海上プライマリー生命の「投資型年金」

# ダブルウィング

変額個人年金保険（災害死亡 30%型）

## 特別勘定運用レポート

### （組入投資信託の運用状況）

| 特別勘定の名称                                   | 投資信託の名称                                                     | 投資信託の運用会社                        | ページ |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|
| 日本株式アクティブA                                | フィデリティ・日本成長株・ファンドVA4                                        | フィデリティ投信株式会社                     | 1   |
| 日本株式アクティブB                                | フィデリティ・日本小型株・ファンドVA4                                        |                                  | 2   |
| 日本株式インデックスA                               | 日本株式インデックス・ファンドVA1                                          | ステート・ストリート・グローバル・<br>アドバイザーズ株式会社 | 3   |
| 外国株式インデックスA                               | 外国株式インデックス・ファンドVA1                                          |                                  | 4   |
| ジャナス外国株式<br>ストラテジック                       | ジャナス・ストラテジック・バリュー・<br>ファンド                                  | ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・<br>リミテッド  | 5   |
| ジャナス外国株式<br>フォーティ                         | ジャナス・フォーティ・ファンド                                             |                                  | 6   |
| 外国債券インデックスA                               | 外国債券インデックス・ファンドVA1                                          | ステート・ストリート・グローバル・<br>アドバイザーズ株式会社 | 7   |
| ジャナス外国債券<br>フレックス                         | ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド                                       | ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・<br>リミテッド  | 8   |
| ジャナス外国債券<br>ハイイールド                        | ジャナス・ハイイールド・ファンド                                            |                                  | 9   |
| SMAM・バランス25<br>SMAM・バランス50<br>SMAM・バランス75 | SMAM・バランスファンドVA25<br>SMAM・バランスファンドVA50<br>SMAM・バランスファンドVA75 | 三井住友DSアセットマネジメント株式会社             | 10  |
| マザーファンドの状況                                |                                                             |                                  | 11  |
| ジャナス・バランス                                 | ジャナス・バランス・ファンド                                              | ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・<br>リミテッド  | 13  |
| グローバル不動産投信                                | ジャナス・グローバル・リアルエステート・<br>ファンド                                |                                  | 14  |
| マネーA                                      | フィデリティ・マネー・プールVA                                            | フィデリティ投信株式会社                     | 15  |

# 特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって

## 当資料をご覧ください際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のダブルウィング〔変額個人年金保険（災害死亡 30%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況]に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況]は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

## この保険商品についてご確認ください事項

### ■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

### ■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

### ■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

## 諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

### 積立期間中にご負担いただく費用

#### 1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

| 項 目     | 目 的                                              | 費 用                         | 時 期                                        |
|---------|--------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------|
| 保険関係費   | 当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用 | 積立金額に対して年率 2.30%            | 積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。       |
| 資産運用関係費 | 投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用                       | 特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。 | 各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。 |

| 特別勘定の名称                           | 資産運用関係費<br>(消費税込 年率) | 特別勘定の名称                                       | 資産運用関係費<br>(消費税込 年率)  | 特別勘定の名称                                | 資産運用関係費<br>(消費税込 年率)               |
|-----------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------|------------------------------------|
| 日本株式アクティブ A                       | 1.298%程度             | ジャナス外国株式<br>フォーティ <sup>*1</sup> <sub>*2</sub> | 1.5%程度 <sup>*4</sup>  | SMAM・バランス 50 <sup>*6</sup>             | 0.33%程度                            |
| 日本株式アクティブ B                       | 1.408%程度             | 外国債券<br>インデックス A                              | 0.308%程度              | SMAM・バランス 75 <sup>*6</sup>             | 0.33%程度                            |
| 日本株式インデックス A                      | 0.275%程度             | ジャナス外国債券<br>フレックス <sup>*1</sup>               | 0.85%程度 <sup>*4</sup> | ジャナス・バランス <sup>*1</sup>                | 1.25%程度 <sup>*4</sup>              |
| 外国株式インデックス A                      | 0.418%程度             | ジャナス外国債券<br>ハイイールド <sup>*1</sup>              | 1%程度 <sup>*4</sup>    | グローバル不動産投信 <sup>*1</sup> <sub>*3</sub> | 1.25%程度 <sup>*4</sup>              |
| ジャナス外国株式<br>ストラテジック <sup>*1</sup> | 1.5%程度 <sup>*4</sup> | SMAM・バランス 25 <sup>*6</sup>                    | 0.33%程度               | マ ネ ー A                                | 0.00935%~<br>0.55%程度 <sup>*5</sup> |

- \* 1 2005 年 7 月 1 日より追加設定されました。 \* 2 2017 年 12 月 15 日、「ジャナス外国株式トゥエンティ」より名称変更されました。  
 \* 3 2007 年 7 月 1 日、「ジャナス米国不動産投信」より名称変更されました。  
 \* 4 資産運用関係費は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託にかかりますが、当該投資信託は外国投資信託であるため、国内では消費税はかかりません。  
 \* 5 前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。  
 \* 6 2015 年 12 月 14 日、「レグ・メイソン・セレクト 30 / 50 / 70」より変更されました。



ご注意

- 資産運用関係費は信託報酬（管理報酬）を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

#### 2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

| 項 目          | 費 用                                                       | 時 期                                                                                      |
|--------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 積立金<br>移転手数料 | 1 保険年度に 15 回目までは無料<br>1 保険年度 16 回目以後の<br>移転について 2,500 円/回 | 移転時に積立金から控除します。                                                                          |
| 貸付利息         | 契約者貸付を受けるとき<br>貸付金額に対して年率 2.30%                           | 年ごとの契約応当日に積立金から控除します。                                                                    |
| 解約控除         | 解約するとき<br>一部解約するとき                                        | 経過年数に応じて、<br>払込保険料総額に対して 1~8%<br>経過年数に応じて、<br>一部解約請求金額に対して 1~8%<br>解約時・一部解約時に積立金から控除します。 |

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

<解約控除率>

| 契約日（増額日）<br>からの経過年数  | 1年未満 | 1年以上<br>2年未満 | 2年以上<br>3年未満 | 3年以上<br>4年未満 | 4年以上<br>5年未満 | 5年以上<br>6年未満 | 6年以上<br>7年未満 | 7年以上<br>8年未満 | 8年以上<br>9年未満 | 9年以上<br>10年未満 | 10年以上 |
|----------------------|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------|
| 解約控除対象額に<br>対する解約控除率 | 8%   | 8%           | 7%           | 7%           | 6%           | 5%           | 4%           | 3%           | 2%           | 1%            | 0%    |

### 年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後にご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含まれます。）

| 項 目   | 費 用        | 時 期                           |
|-------|------------|-------------------------------|
| 年金管理費 | 年金額に対して 1% | 年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。 |

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

- ① 主として日本株を投資対象とします。  
 ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

## 設定来の運用実績 (2025年9月30日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## コメント (2025年9月30日現在)

当月の東京株式市場は、利下げ期待を背景とした米株高や自民党新総裁への期待、人工知能(AI)の需要拡大といった好材料を追い風に力強く上昇しました。月初こそ米中間の半導体開発競争への懸念から軟調に始まりましたが、トランプ米大統領による自動車関税引き下げの署名や石破首相の辞意表明を受けた次期政権への期待を手掛かりに、株価は上昇基調へ転じました。米国で利下げ期待が高まる中、米クラウド大手の好決算を受けてAIの需要拡大が意識され、関連銘柄を中心に買いが広がると株高が加速し、TOPIX、日経平均株価ともに史上最高値を更新する動きが連日のように続きました。米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げを決定し、年内の追加利下げ観測が強まったことで投資家心理が一段と改善したほか、想定外となった日銀の上場投資信託(ETF)の売却開始決定も市場への影響は限定的にとどまり、株価はその後も上値を広げました。月末にかけては高値警戒感や期末の配当落ちの影響から伸び悩んだものの、全体としては史上最高値を更新する力強い展開が目立った月となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+2.98%、日経平均株価は+5.18%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

## ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

## 資産別組入状況

|               |       |
|---------------|-------|
| 株式            | 98.8% |
| 新株予約権証券(ワラント) | -     |
| 投資信託・投資証券     | -     |
| 現金・その他        | 1.2%  |

## 市場別組入状況

|          |       |
|----------|-------|
| 東証プライム   | 97.5% |
| 東証スタンダード | 0.9%  |
| 東証グロース   | 0.4%  |
| その他市場    | -     |

## 組入上位5業種

|       |       |
|-------|-------|
| 電気機器  | 21.2% |
| 銀行業   | 11.1% |
| 建設業   | 6.8%  |
| 輸送用機器 | 6.6%  |
| 小売業   | 5.9%  |

(対純資産総額比率)

- \* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。  
 \* 業種は東証33業種に準じて表示しています。  
 \* 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

| 商品概要 |                          |
|------|--------------------------|
| 形態   | 追加型投信／国内／株式              |
| 投資対象 | わが国の株式等                  |
| 設定日  | 2002年9月20日               |
| 信託期間 | 原則無期限                    |
| 決算日  | 原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日) |

| 累積リターン (2025年9月30日現在) |       |        |        |        |        |         |
|-----------------------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                       | 直近1ヶ月 | 3ヶ月    | 6ヶ月    | 1年     | 3年     | 設定来     |
| ファンド                  | 2.23% | 9.75%  | 18.97% | 16.76% | 56.65% | 417.26% |
| ベンチマーク                | 2.98% | 11.04% | 19.39% | 21.55% | 83.91% | 426.15% |

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク: TOPIX(配当込)

\* TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。

\* 東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

## 過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

|                  |    |
|------------------|----|
| 第19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第22期(2023.11.30) | 0円 |
| 第23期(2024.12.02) | 0円 |

|       |        |                |
|-------|--------|----------------|
| 純資産総額 | 0.4 億円 | (2025年9月30日現在) |
|-------|--------|----------------|

| 組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2025年8月29日現在) |                   |       |      |
|---------------------------------------|-------------------|-------|------|
|                                       | 銘柄                | 業種    | 比率   |
| 1                                     | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業   | 5.5% |
| 2                                     | ソニーグループ           | 電気機器  | 4.8% |
| 3                                     | 日立製作所             | 電気機器  | 4.4% |
| 4                                     | トヨタ自動車            | 輸送用機器 | 3.4% |
| 5                                     | 東京海上ホールディングス      | 保険業   | 3.1% |
| 6                                     | 三井住友フィナンシャルグループ   | 銀行業   | 3.0% |
| 7                                     | 伊藤忠商事             | 卸売業   | 3.0% |
| 8                                     | リクルートホールディングス     | サービス業 | 2.1% |
| 9                                     | キーエンス             | 電気機器  | 2.0% |
| 10                                    | きんでん              | 建設業   | 1.8% |

(組入銘柄数: 182)

 上位10銘柄合計 33.1%  
 (対純資産総額比率)

**Fidelity** フィデリティ投信株式会社  
 INTERNATIONAL

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

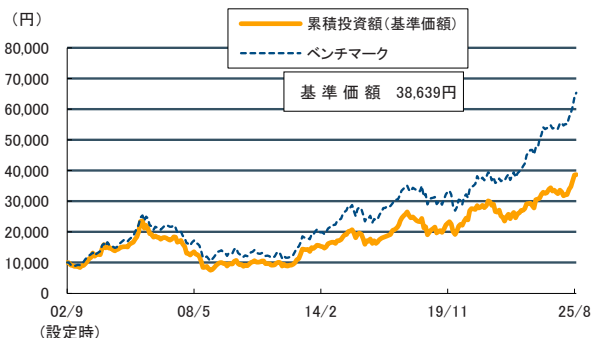
## フィデリティ・日本小型株・ファンドVA4

ダブルウィング

- ① 日本国内の比較的規模の小さい企業の株式を主要な投資対象とします。
- ② 個別企業分析により、比較的規模の小さい高成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

## 設定来の運用実績

(2025年9月30日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。(設定から2003年8月末までは東証第二部株価指数(配当金込)、2003年9月から2009年2月末まではRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)を連続させて指数化しております。)※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## コメント

(2025年9月30日現在)

当月の東京株式市場は、利下げ期待を背景とした米株高や自民党新総裁への期待、人工知能(AI)の需要拡大といった好材料を追い風に力強く上昇しました。月初こそ米中間の半導体開発競争への懸念から軟調に始まりましたが、トランプ米大統領による自動車関税引き下げの署名や石破首相の辞意表明を受けた次期政権への期待を手掛かりに、株価は上昇基調へ転じました。米国で利下げ期待が高まる中、米クラウド大手の好決算を受けてAIの需要拡大が意識され、関連銘柄を中心に買いが広がると株高が加速し、TOPIX、日経平均株価ともに史上最高値を更新する動きが連日のように続きました。米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げを決定し、年内の追加利下げ観測が強まったことで投資家心理が一段と改善したほか、想定外となった日銀の上場投資信託(ETF)の売却開始決定も市場への影響は限定的にとどまり、株価はその後もしばらく上値を下げました。月末にかけては高値警戒感や期末の配当落ちの影響から伸び悩んだものの、全体としては史上最高値を更新する力強い展開が目立った月となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+2.98%、日経平均株価は+5.18%でした。Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込)が+2.28%、東証グロース市場250指数は-4.48%となり、新興市場は逆行安となりました。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

## ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

(2025年8月29日現在)

| 資産別組入状況       |       |
|---------------|-------|
| 株式            | 99.3% |
| 新株予約権証券(ワラント) | -     |
| 投資信託・投資証券     | -     |
| 現金・その他        | 0.7%  |

| 市場別組入状況  |       |
|----------|-------|
| 東証プライム   | 89.2% |
| 東証スタンダード | 6.1%  |
| 東証グロース   | 4.0%  |
| その他市場    | -     |

| 組入上位5業種 |      |
|---------|------|
| 電気機器    | 9.4% |
| 化学      | 7.9% |
| 小売業     | 6.7% |
| 卸売業     | 6.5% |
| 情報・通信業  | 6.3% |

(対純資産総額比率)

- \* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
- \* 業種は東証33業種に準じて表示しています。
- \* 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

| 商品概要 |                          |
|------|--------------------------|
| 形態   | 追加型投信/国内/株式              |
| 投資対象 | わが国の小型株式等                |
| 設定日  | 2002年9月20日               |
| 信託期間 | 原則無期限                    |
| 決算日  | 原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日) |

| 累積リターン |  | (2025年9月30日現在) |        |        |        |        |         |
|--------|--|----------------|--------|--------|--------|--------|---------|
|        |  | 直近1ヶ月          | 3ヶ月    | 6ヶ月    | 1年     | 3年     | 設定来     |
| ファンド   |  | 0.31%          | 11.00% | 20.45% | 14.98% | 59.07% | 286.39% |
| ベンチマーク |  | 2.28%          | 11.20% | 18.69% | 21.43% | 77.18% | 553.89% |

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。  
※ベンチマーク: Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス\*(配当金込)  
(但し、設定から2003年8月末までは東証第二部株価指数(配当金込)、2003年9月から2009年2月末まではRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)でした。)  
※累積リターンは、2003年8月末までの東証第二部株価指数(配当金込)、2009年2月末までのRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)、及び現在のベンチマークの騰落率を連続させて計算しております。  
\*Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額中位35%と時価総額下位15%をカバーし、Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスおよびRussell/Nomura Mid-Small Cap Value インデックスを含みます。  
Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの知的財産権およびその他の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックスに関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

## 過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

|                  |    |
|------------------|----|
| 第19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第22期(2023.11.30) | 0円 |
| 第23期(2024.12.02) | 0円 |

## 純資産総額

0.3 億円

(2025年9月30日現在)

## 組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース)

(2025年8月29日現在)

|    | 銘柄                  | 業種     | 比率   |
|----|---------------------|--------|------|
| 1  | ふくおかフィナンシャルグループ     | 銀行業    | 2.7% |
| 2  | スズキ                 | 輸送用機器  | 2.3% |
| 3  | ヨネックス               | その他製品  | 2.3% |
| 4  | コンコルディア・フィナンシャルグループ | 銀行業    | 2.2% |
| 5  | T&Dホールディングス         | 保険業    | 2.1% |
| 6  | 大阪ソーダ               | 化学     | 2.0% |
| 7  | AZ-COM丸和ホールディングス    | 陸運業    | 1.8% |
| 8  | サンリオ                | 卸売業    | 1.8% |
| 9  | クレディセゾン             | その他金融業 | 1.8% |
| 10 | リゾートトラスト            | サービス業  | 1.7% |

(組入銘柄数: 85)

上位10銘柄合計 20.6%

(対純資産総額比率)

日本株式インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞  
月次運用報告書

追加型投信／国内／株式／インデックス型

設定・運用：

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2025年9月30日現在

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 基準価額         | 38,508円         |
| 純資産総額        | 1,370百万円        |
| 銘柄数（マザーファンド） | 1,666           |
| マザー受益証券投資比率  | 100.0%          |
| 信託報酬率        | 0.275%（税抜0.25%） |

|             |           |
|-------------|-----------|
| マザー純資産総額    | 48,037百万円 |
| β値          | 1.00      |
| 推定トラッキングエラー | 0.02%     |

## &lt;商品の特色&gt;

## ◆投資目的

日本の証券取引所に上場されている株式を投資対象とした「日本株式インデックス・マザーファンド」受益証券に投資することにより、中長期的にTOPIX（東証株価指数、配当込み）の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

## ◆投資対象

日本株式インデックス・マザーファンド受益証券を主たる投資対象とします。

## &lt;9月の市場概況&gt;

9月の国内株式市場は、日銀が保有する上場投資信託（ETF）の売却を決定したことや利益確定売りが重荷となりましたが、米利下げ観測を背景とした米ハイテク株高や米自動車関税の引き下げに加えて、次期政権の財政拡張期待も相場を支える中、上昇しました。TOPIX指数は前月末比2.03%上昇し、3137.60ポイントで終了しました。（配当込みTOPIX指数は2.98%の上昇でした。）

上旬は、米利下げ観測を背景とした米ハイテク株高やトランプ米大統領による自動車関税引き下げの大統領令への署名に加えて、次期政権が財政拡張的な政策に傾くとの思惑も相場を支える中、上昇しました。

中旬は、米利下げ再開や今後の利下げ継続見通しを受けた米株高が相場を支えましたが、日銀が金融政策決定会合で保有するETFの売却を決定したことが重荷となりました。

下旬は、次期政権の財政拡張や中東情勢の緊張緩和への期待が相場を支えましたが、利益確定売りや日銀の追加利上げ観測を受けた円高が重荷となりました。

| 基準価額騰落率   | 設定来     | 1年間     |         |
|-----------|---------|---------|---------|
| (税引前分配金込) | 285.08% | 21.16%  |         |
| 騰落率       |         |         |         |
|           | ファンド    | ベンチマーク  | 差       |
| 1ヶ月       | 2.95%   | 2.98%   | -0.03%  |
| 3ヶ月       | 10.96%  | 11.04%  | -0.08%  |
| 6ヶ月       | 19.24%  | 19.39%  | -0.15%  |
| 1年        | 21.16%  | 21.55%  | -0.39%  |
| 2年        | 40.69%  | 41.70%  | -1.01%  |
| 3年        | 81.71%  | 83.91%  | -2.20%  |
| 設定来       | 285.08% | 318.22% | -33.14% |

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移

2025年9月30日現在



注：ベンチマーク（TOPIX（東証株価指数、配当込み））は、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

## 上位5業種構成比※

| 業種     | 比率     |
|--------|--------|
| 電気機器   | 16.86% |
| 銀行業    | 9.23%  |
| 情報・通信業 | 7.73%  |
| 卸売業    | 7.03%  |
| 輸送用機器  | 6.57%  |

## 分配実績（税引前）

| 決算期             | 分配金 |
|-----------------|-----|
| 第17期（2021年3月5日） | 0円  |
| 第18期（2022年3月7日） | 0円  |
| 第19期（2023年3月6日） | 0円  |
| 第20期（2024年3月5日） | 0円  |
| 第21期（2025年3月5日） | 0円  |

## 上位20銘柄※

| 銘柄名                 | 業種     | 比率    |
|---------------------|--------|-------|
| 1 トヨタ自動車            | 輸送用機器  | 3.28% |
| 2 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業    | 3.28% |
| 3 ソニーグループ           | 電気機器   | 3.19% |
| 4 日立製作所             | 電気機器   | 2.19% |
| 5 ソフトバンクグループ        | 情報・通信業 | 2.00% |
| 6 三井住友フィナンシャルグループ   | 銀行業    | 1.83% |
| 7 任天堂               | その他製品  | 1.75% |
| 8 三菱商事              | 卸売業    | 1.50% |
| 9 三菱重工業             | 機械     | 1.48% |
| 10 みずほフィナンシャルグループ   | 銀行業    | 1.42% |
| 11 リクルートホールディングス    | サービス業  | 1.31% |
| 12 伊藤忠商事            | 卸売業    | 1.30% |
| 13 東京海上ホールディングス     | 保険業    | 1.28% |
| 14 三井物産             | 卸売業    | 1.21% |
| 15 東京エレクトロン         | 電気機器   | 1.21% |
| 16 キーエンス            | 電気機器   | 1.19% |
| 17 NTT              | 情報・通信業 | 1.00% |
| 18 アドバンテスト          | 電気機器   | 1.00% |
| 19 信越化学工業           | 化学     | 0.94% |
| 20 HOYA             | 精密機器   | 0.85% |

## ※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に日本の株式に投資するため、組入れた株式の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国株式インデックス・ファンドVA1(適格機関投資家専用)  
月次運用報告書

追加型投信／海外／株式／インデックス型

設定・運用:

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2025年9月30日現在

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 基準価額         | 101,520円        |
| 純資産総額        | 437百万円          |
| 銘柄数(マザーファンド) | 1,157           |
| マザー受益証券投資比率  | 100.0%          |
| 信託報酬率        | 0.418%(税抜0.38%) |

|             |            |
|-------------|------------|
| マザー純資産総額    | 370,215百万円 |
| β値          | 1.00       |
| 推定トラッキングエラー | 0.01%      |

## &lt;商品の特色&gt;

## ◆投資目的

日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

## ◆投資対象

外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

## &lt;9月の市場概況&gt;

9月の外国株式市場は、米景気の悪化や米政府機関の一部閉鎖懸念、フランスの財政悪化への警戒感などが重荷となりましたが、米利下げ再開や利下げ継続観測が相場を支える中、上昇しました。

米国市場は、米景気の悪化や米政府機関の一部閉鎖懸念が重荷となりましたが、米利下げ再開や利下げ継続観測に加えて、米中貿易協議の進展期待も相場を支える中、上昇しました。ダウ平均は46,397.89(前月比+1.87%)、ナスダック総合指数は22,660.01(前月比+5.61%)、S&P500指数は6,688.46(前月比+3.53%)で終了しました。

欧州市場は、米景気の不透明感やフランスの財政悪化懸念、欧州の利下げ観測後退が重荷となりましたが、米利下げ再開や今後の利下げ継続見通しを受けた米株高が相場を支えました。英FTSE100指数は9,350.43(前月比+1.78%)、仏CAC40指数は7,895.94(前月比+2.49%)、独DAX指数は23,880.72(前月比-0.09%)で終了しました。

アジア市場は、オーストラリア市場は堅調な豪経済や根強いインフレを受けた豪利下げ観測の後退が重荷となりました。香港市場は中国産人工知能(AI)の開発進展期待や中国政府の政策期待が相場を支えました。豪ASX200指数は8,848.77(前月比-1.39%)、香港ハンセン指数は26,855.56(前月比+7.09%)で終了しました。

外国為替市場は、米労働市場減速を受けた米利下げ観測が円買い・ドル売り材料となりましたが、日本の政治不透明感や日米の株高を受けた投資家心理の改善などを背景に円売りが優勢となりました。ユーロやその他主要国通貨に対しても概ね円安の展開となりました。円は対米ドルで月間1.33%下落の148.88円となりました。

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)パフォーマンスは前月比+3.67%となりました。

| 基準価額騰落率   | 設定来     | 1年間      |          |
|-----------|---------|----------|----------|
| (税引前分配金込) | 915.20% | 21.66%   |          |
| 騰落率       |         |          |          |
|           | ファンド    | ベンチマーク   | 差        |
| 1ヶ月       | 3.62%   | 3.67%    | -0.06%   |
| 3ヶ月       | 10.18%  | 10.35%   | -0.17%   |
| 6ヶ月       | 18.37%  | 18.85%   | -0.49%   |
| 1年        | 21.66%  | 22.64%   | -0.98%   |
| 2年        | 53.70%  | 56.19%   | -2.49%   |
| 3年        | 90.85%  | 95.44%   | -4.59%   |
| 設定来       | 915.20% | 1186.63% | -271.43% |

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移  
2025年9月30日現在

注: ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)のデیلیー・リターンをTTM レートで円換算し、2002年9月23日を10,000 として換算し直しています。

## 信託財産構成比率

| 項目              | 国名        | 2025/9/30 | 分配実績(税引前)            |
|-----------------|-----------|-----------|----------------------|
| 外国株式            | 全体        | 94.9%     | 第9期 (2010.11.30) 0円  |
|                 | <北米>      | 76.0%     | 第10期 (2011.11.30) 0円 |
|                 | アメリカ      | 72.7%     | 第11期 (2012.11.30) 0円 |
|                 | カナダ       | 3.3%      | 第12期 (2013.12.2) 0円  |
|                 | <アジア・太平洋> | 2.6%      | 第13期 (2014.12.1) 0円  |
|                 | オーストラリア   | 1.7%      | 第14期 (2015.11.30) 0円 |
|                 | 香港        | 0.5%      | 第15期 (2016.11.30) 0円 |
|                 | シンガポール    | 0.4%      | 第16期 (2017.11.30) 0円 |
|                 | ニュージーランド  | 0.0%      | 第17期 (2018.11.30) 0円 |
|                 | <ヨーロッパ>   | 16.0%     | 第18期 (2019.12.2) 0円  |
|                 | イギリス      | 3.6%      | 第19期 (2020.11.30) 0円 |
|                 | フランス      | 2.7%      | 第20期 (2021.11.30) 0円 |
|                 | ドイツ       | 2.4%      | 第21期 (2022.11.30) 0円 |
|                 | スイス       | 2.2%      | 第22期 (2023.11.30) 0円 |
|                 | デンマーク     | 1.2%      | 第23期 (2024.12.2) 0円  |
|                 | イタリア      | 0.8%      |                      |
|                 | スペイン      | 0.9%      |                      |
|                 | スウェーデン    | 0.9%      |                      |
|                 | フィンランド    | 0.3%      |                      |
|                 | ベルギー      | 0.3%      |                      |
|                 | アイルランド    | 0.1%      |                      |
|                 | オランダ      | 0.5%      |                      |
|                 | ブルガリア     | 0.1%      |                      |
|                 | ポルトガル     | 0.1%      |                      |
|                 | オーストリア    | 0.1%      |                      |
|                 | <アフリカ・中東> | 0.3%      |                      |
|                 | イスラエル     | 0.3%      |                      |
| その他(現金及び株価指数先物) |           | 5.1%      |                      |

## 上位10銘柄※

|    | 銘柄名                  | 投資国名 | 業種名称               | 比率   |
|----|----------------------|------|--------------------|------|
| 1  | NVIDIA CORP          | アメリカ | 半導体・半導体製造装置        | 5.5% |
| 2  | APPLE INC            | アメリカ | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 4.8% |
| 3  | MICROSOFT CORP       | アメリカ | ソフトウェア・サービス        | 4.5% |
| 4  | AMAZON.COM INC       | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り   | 2.7% |
| 5  | META PLATFORMS INC-A | アメリカ | メディア・娯楽            | 2.0% |
| 6  | BROADCOM INC         | アメリカ | 半導体・半導体製造装置        | 2.8% |
| 7  | ALPHABET INC-CL A    | アメリカ | メディア・娯楽            | 1.8% |
| 8  | TESLA INC            | アメリカ | 自動車・自動車部品          | 1.6% |
| 9  | ALPHABET INC-CL C    | アメリカ | メディア・娯楽            | 1.5% |
| 10 | JPMORGAN CHASE & CO  | アメリカ | 銀行                 | 1.1% |

## ※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。  
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。  
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。  
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。  
○当ファンドは主に外国の株式に投資するため、組入れた株式の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

## ファンドの主な特徴

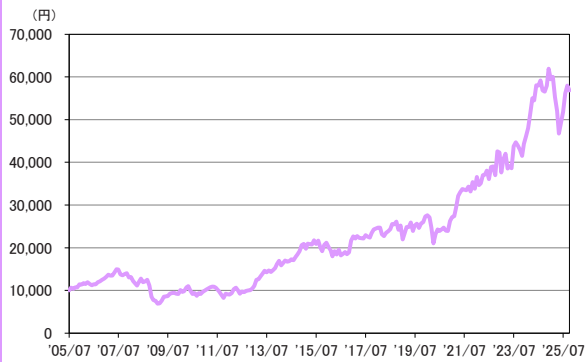
当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、米国の中小型株式を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の中小型割安(バリュー)株式に幅広く投資します。
- ② 企業の本源的価値に対して、割安な価格で取り引きされていると判断する株式を選定します。
- ③ 株価の下落余地と上昇余地を厳格に分析し、リスクを低減しつつ、収益の獲得を目指します。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USスモール・ミッド・キャップ・バリュー・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 56,818円

## 基準価額の推移 (2025年9月30日現在)



## 運用実績 (2025年9月30日現在)

|      | 1カ月    | 3カ月   | 6カ月   | 1年    | 設定来     |
|------|--------|-------|-------|-------|---------|
| ファンド | -1.99% | 9.64% | 9.26% | 0.45% | 468.18% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率 (2025年8月31日現在)  
(対組入証券時価総額)

|         |        |
|---------|--------|
| 北米      | 97.97% |
| ヨーロッパ   | 2.03%  |
| アジア・太平洋 | —      |
| その他     | —      |

<sup>\*</sup> 1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

<sup>\*</sup> 2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

## ファンドの概要 (2025年8月31日現在)

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 形態    | アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 |
| 設定日   | 2005年7月1日               |
| 純資産総額 | 178百万米ドル                |
| 保有銘柄数 | 50銘柄                    |

## 株式組入上位10銘柄 (対組入株式時価総額) (2025年8月31日現在)

| 銘柄                     | 業種 <sup>*1</sup> | 比率 <sup>*2</sup> |
|------------------------|------------------|------------------|
| ヘリオス・テクノロジーズ           | 資本財・サービス         | 3.28%            |
| ボンティエ                  | 情報技術             | 3.19%            |
| フルトン・ファイナンシャル          | 金融               | 3.05%            |
| ウィズダム・ツリー              | 金融               | 2.78%            |
| アライアント・エナジー            | 公益事業             | 2.66%            |
| ウイントラスト・ファイナンシャル       | 金融               | 2.65%            |
| アグシス・キャピタル・ホールディングス    | 金融               | 2.57%            |
| リテルヒューズ                | 情報技術             | 2.55%            |
| クエーカー・ケミカル             | 素材               | 2.50%            |
| リンカーン・エレクトリック・ホールディングス | 資本財・サービス         | 2.49%            |
| 上位10銘柄の合計              |                  | 27.71%           |

業種別構成比率<sup>\*1</sup> (2025年8月31日現在)  
(対組入株式時価総額)

|                |        |
|----------------|--------|
| 金融             | 23.71% |
| 資本財・サービス       | 18.73% |
| 情報技術           | 12.02% |
| 一般消費財・サービス     | 11.63% |
| 素材             | 9.50%  |
| 不動産            | 7.03%  |
| ヘルスケア          | 6.46%  |
| エネルギー          | 4.28%  |
| 生活必需品          | 3.98%  |
| 公益事業           | 2.66%  |
| コミュニケーション・サービス | —      |

## 運用コメント (2025年8月31日現在)

【市場概況】 8月の米国中小型割安株式市場は上昇しました。

上旬は、7月の米雇用統計が労働市場の軟化を示唆したことや、米政権による関税政策が景気を冷やすとの懸念から、上値が重い展開となりました。中旬は、7月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想の範囲内に収まり、インフレへの過度な警戒感が和らいだことで、市場は上昇に転じました。しかし、その後発表された米生産者物価指数(PPI)が予想を上回る伸びを示したことでインフレ懸念が再燃し、市場は再び下落に転じました。下旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長の見解を受けて利下げ期待が再び強まり、加えて景気の底堅さを示す経済指標も好感され、市場は再び上昇しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。生活必需品を除くすべてのセクターがプラスに寄与し、中でも金融や資本財・サービス・セクターが貢献しました。

【運用方針】 米国では、税制や財政政策の方向性について一定の見通しが立ちつつあることや、FRBが利下げを再開するとの見方が引き続き投資家心理を支えています。また、関税政策を巡る不透明感が後退してきたことで、企業はサプライチェーンの再構築や価格設定、設備投資などに関する意思決定を進めやすくなっています。一方で、米政権の急な政策転換が市場のボラティリティを高める可能性があるほか、雇用の伸びが鈍化傾向にあることから、経済成長の減速に留意しています。このような環境下、当ファンドは、優れた経営陣のもとで安定した収益を上げ、強固なフリー・キャッシュ・フローを創出し、低い負債比率を維持する企業に注目しています。こうした企業は、経済環境に左右されにくく、持続的な成長が期待できると考えます。また、市場の一時的な変動を活用し、割安に評価されている魅力的な投資機会を積極的に追求しています。今後も、市場上昇時のリターン獲得を目指すとともに、下落局面では、下落リスクの予測や分析に基づいて損失を最小限に抑えることを目指す運用を行っていく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

## ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、米国株式を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の大型成長株式に投資します。
- ② 徹底した個別企業のリサーチに基づき、20～40銘柄程度をポートフォリオの中核として集中投資します。
- ③ 革新性があり、中長期的に高い成長可能性を持つと考える銘柄を選好します。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USフォーティ・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 129,932円

## 基準価額の推移 (2025年9月30日現在)



## 運用実績 (2025年9月30日現在)

|      | 1か月   | 3か月    | 6か月    | 1年     | 設定来      |
|------|-------|--------|--------|--------|----------|
| ファンド | 5.26% | 11.24% | 26.43% | 22.78% | 1199.32% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

## 地域別構成比率 (2025年8月31日現在)

| (対組入証券時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 北米          | 92.48% |
| ヨーロッパ       | 1.94%  |
| アジア・太平洋     | 3.23%  |
| その他         | 2.35%  |

<sup>\*</sup> 1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

<sup>\*</sup> 2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

## ファンドの概要 (2025年8月31日現在)

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 形態    | アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 |
| 設定日   | 2005年7月1日               |
| 純資産総額 | 1,342百万米ドル              |
| 保有銘柄数 | 33銘柄                    |

## 株式組入上位10銘柄 (対組入株式時価総額) (2025年8月31日現在)

| 銘柄           | 業 種 <sup>*1</sup> | 比率 <sup>*2</sup> |
|--------------|-------------------|------------------|
| マイクロソフト      | 情報技術              | 10.10%           |
| エヌビディア       | 情報技術              | 9.70%            |
| アマゾン・ドット・コム  | 一般消費財・サービス        | 8.74%            |
| ブロードコム       | 情報技術              | 5.74%            |
| オラクル         | 情報技術              | 5.35%            |
| メタ・プラットフォームズ | コミュニケーション・サービス    | 4.97%            |
| アップル         | 情報技術              | 4.14%            |
| マスターカード      | 金融                | 3.92%            |
| アルファベット      | コミュニケーション・サービス    | 3.46%            |
| ブラックストーン     | 金融                | 3.26%            |
| 上位10銘柄の合計    |                   | 59.38%           |

業種別構成比率<sup>\*1</sup> (2025年8月31日現在)

| (対組入株式時価総額)    |        |
|----------------|--------|
| 情報技術           | 45.44% |
| 一般消費財・サービス     | 18.89% |
| ヘルスケア          | 10.17% |
| 金融             | 8.47%  |
| コミュニケーション・サービス | 8.43%  |
| 資本財・サービス       | 5.71%  |
| 生活必需品          | 1.94%  |
| 不動産            | 0.95%  |
| エネルギー          | —      |
| 素材             | —      |
| 公益事業           | —      |

## 運用コメント

(2025年8月31日現在)

【市場概況】 8月の米国大型成長株式市場は上昇しました。月初は、7月の米雇用統計が労働市場の軟化を示唆したことや米政権による関税政策への懸念から、市場は下落しました。その後、利下げ観測の高まりやアップルによる米国国内への大型投資の発表、ウクライナ停戦協議への期待などが好材料となり、市場は上昇に転じました。中旬は、7月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想の範囲内に収まりインフレ懸念が和らいだことで続伸しましたが、その後発表された米生産者物価指数(PPI)が予想を上回るとインフレ懸念が再燃し、市場は反落しました。下旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長の講演を受けて再び利下げ期待が強まり、景気の底堅さを示す経済指標も好感されて、市場は再び上昇しました。月末には人工知能(AI)需要の先行き不透明感から下落しましたが、前月比では上昇して月を終えました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。業種別では、ヘルスケアや金融セクターなどがプラスに寄与した一方、情報技術や資本財・サービス・セクターなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国経済が底堅く推移していることや、利下げが再開されるとの見方が投資家心理を支えています。こうした環境を踏まえ、株式市場に対しては引き続き前向きな見方を維持しています。当ファンドは、AI、脱グローバル化、デジタル化、ヘルスケア分野のイノベーション、クラウドへの移行といった長期的な成長テーマに注目しています。特にAI分野では、企業が業界を問わずAIを中核サービスに組み込み始めており、既存の顧客基盤を活用して収益化する動きが広がっています。こうした変化は、企業の競争力や収益構造に大きな影響を与える可能性があり、当ファンドではその成長可能性に注目しています。当ファンドは引き続き、株式市場の動向やマクロ経済を注視しながら、企業のビジネスモデルやファンダメンタルズの評価に取り組んでいきます。今後も、徹底した企業調査・分析に基づき、長期的な信託財産の成長を目的とした運用を行う方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであり、当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスチーズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

## 外国債券インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞ 月次運用報告書

追加型投信／海外／債券／インデックス型  
2025年9月30日現在

設定・運用：

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 基準価額         | 22,270円         |
| 純資産総額        | 150百万円          |
| 銘柄数（マザーファンド） | 627             |
| マザー受益証券投資比率  | 100.0%          |
| 信託報酬率        | 0.308%（税抜0.28%） |

|             |           |
|-------------|-----------|
| マザー純資産総額    | 86,235百万円 |
| 推定トラッキングエラー | 0.02%     |

### ＜商品の特色＞

#### ◆投資目的

日本を除く世界の主要国の公社債を投資対象とした「外国債券インデックス・マザー・ファンド」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の債券市場（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

#### ◆投資対象

外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

### ＜9月の市場概況＞

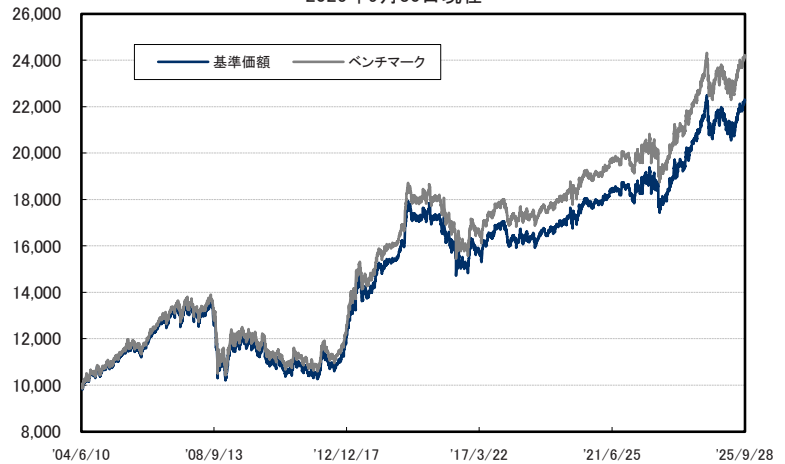
9月の海外債券市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米利下げ観測から債券が買われましたが、その後は米景気の底堅さや欧州の利下げ終了観測、英国の財政懸念などを受けて債券が売られた結果、米国で債券の買いが優勢となった一方、ドイツや英国では若干の金利低下となりました。

米国市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米利下げ観測から債券が買われました。その後は持ち高調整や利益確定の売りに加えて、米景気の底堅さを背景とした米利下げ観測の後退から債券が売られましたが、月間では債券の買いが優勢となりました。米国10年国債利回りは前月末から0.08%低下の4.15%となりました。

欧州市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米長期金利低下から債券が買われましたが、その後は欧州の利下げ終了観測や株価上昇を受けた投資家心理改善、英財政懸念から債券が売られた結果、月間では若干の金利低下となりました。独10年国債利回りは前月末から0.01%低下の2.71%、英10年国債利回りは前月末から0.02%低下の4.70%となりました。

### 設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移

2025年9月30日現在



注：ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）のデیلیー・リターンをTTMレートで円換算し、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

### 分配実績（税引前）

第6期（2010.2.22）0円 第7期（2011.2.21）0円 第8期（2012.2.20）0円 第9期（2013.2.20）0円  
第10期（2014.2.20）0円 第11期（2015.2.20）0円 第12期（2016.2.22）0円 第13期（2017.2.20）0円  
第14期（2018.2.20）0円 第15期（2019.2.20）0円 第16期（2020.2.20）0円 第17期（2021.2.22）0円  
第18期（2022.2.21）0円 第19期（2023.2.20）0円 第20期（2024.2.20）0円 第21期（2025.2.20）0円

### 通貨別構成比※

| 通貨    | 比率     |
|-------|--------|
| 米ドル   | 45.80% |
| ユーロ   | 30.00% |
| 中国人民元 | 11.30% |
| 英ポンド  | 5.61%  |
| カナダドル | 1.98%  |
| その他   | 5.03%  |

### 残存年数別構成比※

| 残存年数  | 比率     |
|-------|--------|
| 1年未満  | 0.32%  |
| 1～3年  | 28.12% |
| 3～7年  | 35.11% |
| 7～10年 | 13.98% |
| 10年以上 | 22.18% |

### 上位10銘柄※

| 銘柄名           | 比率         | 通貨    | 残存年数     |
|---------------|------------|-------|----------|
| アメリカ国債 1.500% | 2027/1/31  | 0.81% | USD 1.34 |
| アメリカ国債 4.250% | 2029/2/28  | 0.78% | USD 3.41 |
| アメリカ国債 1.625% | 2029/8/15  | 0.71% | USD 3.87 |
| アメリカ国債 0.625% | 2027/11/30 | 0.70% | USD 2.17 |
| アメリカ国債 1.125% | 2027/2/28  | 0.68% | USD 1.41 |
| アメリカ国債 2.375% | 2027/5/15  | 0.68% | USD 1.62 |
| アメリカ国債 1.625% | 2026/9/30  | 0.68% | USD 1.00 |
| 中国国債 2.750%   | 2029/6/15  | 0.63% | CNY 3.71 |
| アメリカ国債 1.750% | 2029/1/31  | 0.62% | USD 3.34 |
| アメリカ国債 0.375% | 2027/9/30  | 0.62% | USD 2.00 |

※マザーファンド純資産総額対比

| 基準価額騰落率   | 設定来     | 1年間     |
|-----------|---------|---------|
| （税引前分配金込） | 122.70% | 6.71%   |
| 騰落率       |         |         |
|           | ファンド    | ベンチマーク  |
| 1ヶ月       | 1.90%   | 1.95%   |
| 3ヶ月       | 3.47%   | 3.58%   |
| 6ヶ月       | 4.68%   | 4.86%   |
| 1年        | 6.71%   | 7.16%   |
| 2年        | 14.56%  | 15.42%  |
| 3年        | 19.66%  | 21.04%  |
| 設定来       | 122.70% | 141.93% |

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に外国の公社債に投資するため、組入れた公社債の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス外国債券フレックス

## ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド

ダブルウィング

## ファンドの主な特徴

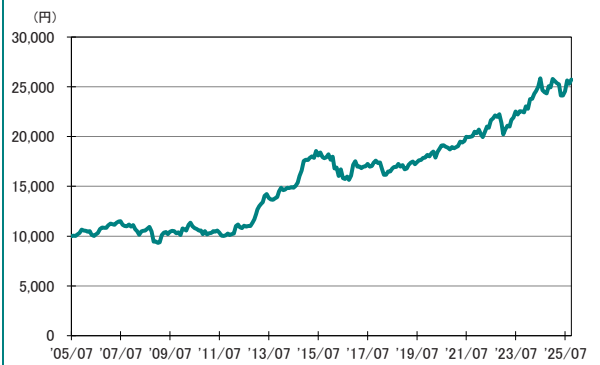
当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、米国債券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の債券に投資し、利子収入と値上がり益の獲得による、トータル・リターン<sup>\*</sup>の最大化を目指します。
- ② 市場環境の変化をとりえ、米国の国債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債などへの投資比率を機動的に変更します。
- ③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・フレキシブル・インカム・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 25,703円

## 基準価額の推移 (2025年9月30日現在)



## 運用実績 (2025年9月30日現在)

|      | 1カ月   | 3カ月   | 6カ月   | 1年    | 設定来     |
|------|-------|-------|-------|-------|---------|
| ファンド | 1.58% | 4.77% | 1.88% | 5.67% | 157.03% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

## ファンドの概要 (2025年8月31日現在)

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 形態        | アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 |
| 設定日       | 2005年7月1日               |
| 純資産総額     | 516百万米ドル                |
| 保有銘柄数     | 538銘柄                   |
| 平均クーポン    | 4.89%                   |
| 直接利回り     | 4.90%                   |
| 最終利回り     | 5.15%                   |
| 実効デュレーション | 6.05年                   |
| 現預金等比率    | 2.14%                   |

## 社債組入上位10銘柄 (対組入債券時価総額) (2025年8月31日現在)

| 銘柄                    | 利率 <sup>*1</sup> | 満期(年/月/日) <sup>*1</sup> | 業種 <sup>*2</sup> | 比率 <sup>*4</sup> |
|-----------------------|------------------|-------------------------|------------------|------------------|
| ブーズ・アレン・ハミルトン         | 5.950%           | 2035/04/15              | その他産業            | 1.10%            |
| シティグループ               | 5.592%           | 2034/11/19              | 銀行               | 0.73%            |
| ウェルズ・ファーゴ             | 5.244%           | 2031/01/24              | 銀行               | 0.63%            |
| モルガン・スタンレー・プライベート・バンク | 4.734%           | 2031/07/18              | 銀行               | 0.60%            |
| ロケット・カンパニーズ           | 6.375%           | 2033/08/01              | 金融会社             | 0.60%            |
| センチーン                 | 4.250%           | 2027/12/15              | 保険               | 0.58%            |
| コアウィーブ                | 9.000%           | 2031/02/01              | テクノロジー           | 0.57%            |
| ボンバルディア               | 7.450%           | 2034/05/01              | 資本財              | 0.55%            |
| エーオン                  | 5.450%           | 2034/03/01              | 保険               | 0.53%            |
| バンク・オブ・アメリカ           | 5.744%           | 2036/02/12              | 銀行               | 0.52%            |
| 上位10銘柄の合計             |                  |                         |                  | 6.40%            |

## 地域別構成比率 (2025年8月31日現在)

| (対組入証券時価総額) | 比率     |
|-------------|--------|
| 北米          | 94.63% |
| ヨーロッパ       | 1.99%  |
| アジア・太平洋     | 0.37%  |
| その他         | 3.01%  |

<sup>\*1</sup> 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「—」で表示しています。<sup>\*2</sup> 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。<sup>\*3</sup> 主要格付機関による格付けの中間値。

表記方法はS&amp;Pに準じています。

<sup>\*4</sup> 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

## 資産別構成比率 (2025年8月31日現在)

| (対純資産総額) | 比率     |
|----------|--------|
| 国債       | 8.46%  |
| 政府関連債    | —      |
| モーゲージ債等  | 43.01% |
| 投資適格社債   | 22.66% |
| ハイイールド債  | 12.54% |
| その他      | 11.19% |
| 現預金等     | 2.14%  |

格付別構成比率<sup>\*3</sup> (2025年8月31日現在)

| (対組入債券時価総額) | 比率     |
|-------------|--------|
| AAA格        | 16.65% |
| AA格         | 38.03% |
| A格          | 7.40%  |
| BBB格        | 22.00% |
| BB格         | 10.66% |
| B格          | 2.15%  |
| CCC格以下      | —      |
| 格付けなし       | 3.11%  |

## 運用コメント

(2025年8月31日現在)

【市場概況】8月の米国債券市場では、超長期債を除き金利が概ね低下しました。金利低下の影響を受けて、債券市場は総じて堅調なリターンとなりました。信用スプレッド（国債利回りに対する上乗せ利回り）は投資適格社債市場では若干拡大した一方、ハイイールド債市場では若干縮小しました。月初は、7月の米雇用統計が市場予想を下回ったことに加え、過去2ヶ月分も大きく下方修正されたことから、景気悪化懸念と利下げ観測が強まり、米国長期金利は低下しました。しかしその後は、米国債の入札が低調だったことや、根強い物価上昇懸念などを受けて上昇しました。中旬は、利下げ観測が強まる局面もあったものの、米生産者物価指数（PPI）の伸びが市場予想を上回ったことなどから、長期金利は若干上昇しました。下旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長がジャクソンホール会議で利下げ再開の可能性を示唆したことや、米国債の堅調な入札結果を背景に、長期金利は低下基調で推移しました。

【運用概況】当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。債券市場が堅調に推移した中、すべての債券種別がプラスに寄与し、特にモーゲージ債や投資適格社債が大きくプラスに貢献しました。業種別でも、銀行や証券・運用会社・取引所セクターをはじめ、多くのセクターがプラスに寄与しました。

【運用方針】トランプ政権の関税政策については、各国との貿易交渉が進展し、不透明感大幅に後退しています。関税引き上げによる影響はまだ物価に反映されていないと考えられますが、今後物価が上昇したとしても短期的なもので、インフレ率が継続的に上昇する可能性は低いと見ています。雇用など経済指標の悪化を懸念する声もありますが、米国企業の業績は概ね堅調で、個人消費も比較的底堅く推移していることから、米国経済は緩やかな成長を維持すると見ています。また、FRBによる利下げが再開されれば、債券市場にプラス材料となると考えます。債券市場では、景気見通しの改善を背景に社債や証券化商品の信用スプレッドが縮小しつつあり、割安感が後退しています。このような環境下、インカムの確保と下落リスクの抑制を意識しつつ、リスク・リターン面で魅力的と考えられる質の高い銘柄を選別することが重要だと考えています。また、株式と債券の相関が低下していることから、債券はポートフォリオのリスク分散の観点からも重要な役割を果たすと考えられます。今後も銘柄選択と債券種別の分散を重視しながら、機動的に資産配分を調整し、リスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券としての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0925 (09) 1025 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

## ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、米国ハイイールド債を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国のハイイールド(高利回り)債に投資し、高水準の利子収入と値上がり利益の獲得を目指します。
- ② 多角的に企業の調査・分析を行い、社債銘柄を選別し投資します。
- ③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・ハイイールド・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 38,210円

## 基準価額の推移

(2025年9月30日現在)



## 運用実績

(2025年9月30日現在)

|      | 1か月   | 3か月   | 6か月   | 1年     | 設定来     |
|------|-------|-------|-------|--------|---------|
| ファンド | 1.76% | 5.75% | 5.84% | 10.50% | 282.10% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

## ファンドの概要

(2025年8月31日現在)

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 形態        | アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 |
| 設定日       | 2005年7月1日               |
| 純資産総額     | 340百万米ドル                |
| 保有銘柄数     | 167銘柄                   |
| 平均クーポン    | 7.04%                   |
| 直接利回り     | 7.10%                   |
| 最終利回り     | 7.14%                   |
| 実効デュレーション | 2.83年                   |
| 現預金等比率    | 2.10%                   |

## 社債組入上位10銘柄 (対組入債券時価総額)

(2025年8月31日現在)

| 銘柄                          | 利率 <sup>*1</sup> | 満期(年/月/日) <sup>*1</sup> | 業種 <sup>*2</sup> | 比率 <sup>*4</sup> |
|-----------------------------|------------------|-------------------------|------------------|------------------|
| ガルダ・ワールド・セキュリティ             | 6.000%           | 2029/06/01              | 景気循環消費財          | 1.67%            |
| トールグラス・エナジー・パートナーズ          | 6.000%           | 2031/09/01              | エネルギー            | 1.51%            |
| ジェン・ストリート・グループ/JSG ファイナンス   | 6.125%           | 2032/11/01              | 証券仲介・資産運用・取引所    | 1.49%            |
| ライフポイント・ヘルス                 | 10.000%          | 2032/06/01              | 非景気循環消費財         | 1.48%            |
| ハワード・ミッドストリーム・エナジー          | 6.625%           | 2034/01/15              | エネルギー            | 1.41%            |
| ファースト・クワンタム・ミネラルズ           | 8.000%           | 2033/03/01              | 素材               | 1.37%            |
| スター・ベアレント                   | 9.000%           | 2030/10/01              | 非景気循環消費財         | 1.35%            |
| ステーション・カジノズ                 | 4.625%           | 2031/12/01              | 景気循環消費財          | 1.30%            |
| ラタム・エアラインズ・グループ             | 7.875%           | 2030/04/15              | 運輸               | 1.28%            |
| HLFファイナシング/ハーバライフ・インターナショナル | 12.250%          | 2029/04/15              | 非景気循環消費財         | 1.27%            |
| 上位10銘柄の合計                   |                  |                         |                  | 14.13%           |

## 地域別構成比率

(2025年8月31日現在)

| (対組入証券時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 北米          | 89.05% |
| ヨーロッパ       | 3.69%  |
| アジア・太平洋     | 3.14%  |
| その他         | 4.12%  |

社債組入上位5業種<sup>\*2</sup>

(2025年8月31日現在)

| (対組入債券時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 景気循環消費財     | 21.46% |
| 通信          | 8.59%  |
| 素材          | 8.17%  |
| テクノロジー      | 7.62%  |
| 非景気循環消費財    | 7.36%  |

格付別構成比率<sup>\*3</sup>

(2025年8月31日現在)

| (対組入債券時価総額) |        |
|-------------|--------|
| AAA格        | —      |
| AA格         | —      |
| A格          | —      |
| BBB格        | 1.53%  |
| BB格         | 33.57% |
| B格          | 49.02% |
| CCC格以下      | 12.71% |
| 格付けなし       | 3.17%  |

- <sup>\*1</sup> 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「—」で表示しています。  
<sup>\*2</sup> 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。  
<sup>\*3</sup> 主要格付機関による格付けの中間値。表記方法はS&Pに準じています。  
<sup>\*4</sup> 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

## 運用コメント

(2025年8月31日現在)

【市場概況】 8月の米国ハイイールド債市場のトータルリターンは上昇しました。当月、米国ハイイールド債の信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ利回り)は若干縮小しました。  
月前半は、労働市場が予想外に軟化し、長期金利が低下したことや、米消費者物価指数(CPI)が概ね市場予想通りとなり、インフレへの警戒感が後退したことを背景に、米国ハイイールド債市場のトータルリターンは緩やかに上昇しました。月後半は、景気減速への警戒感が強まり下落する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長がジャクソンホール会議で利下げ再開の可能性を示唆したことや、米国内総生産(GDP)改定値が市場予想を上回るなど、米国経済の底堅さが好感されたことから続伸しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。業種別では、テクノロジー・セクターは若干マイナスに影響しましたが、建築資材やミッドストリーム(エネルギー)・セクターをはじめ、多くのセクターがプラスに寄与しました。

【運用方針】 トランプ政権の関税政策については、各国との貿易交渉が進展し、不透明感は大幅に後退しています。経済指標はまちまちですが、米国の企業財務や家計は比較的健全である一方、インフレ率は低下基調で推移していることから、当ファンドでは米国経済は緩やかな成長が続くという見方を維持しています。  
関税引き上げによる影響はまだ物価には反映されていませんが、物価が上昇したとしても短期的なもので、インフレ率が継続的に上昇する可能性は低いと見ています。また、FRBによる利下げが再開されれば、債券市場にプラスとなると考えています。  
こうした中、米国ハイイールド債市場では底堅い企業業績を背景に信用スプレッドがタイトな水準まで縮小していることから、当ファンドでは割高感に留意しつつ、様々なセクターからリスク・リターン面で魅力的と考えられる銘柄の選別に注力しています。現在の環境下では、政治的なニュースに一喜一憂することなく、比較的高いインカム収益を確保すると共に、市場が下落した場合にも耐性がある質の高い銘柄を選別することが重要であると考えます。  
トランプ政権の政策を巡り、債券市場では金利動向や低格付け債券の価格が短期的に不安定になる状況が続く可能性があることから、今後も徹底したボトムアップ・リサーチと厳格なリスク管理によって、リスクを抑制しつつリターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。  
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集、勧誘をするものではありません。

## SMAM・バランスファンドVA25,50,75

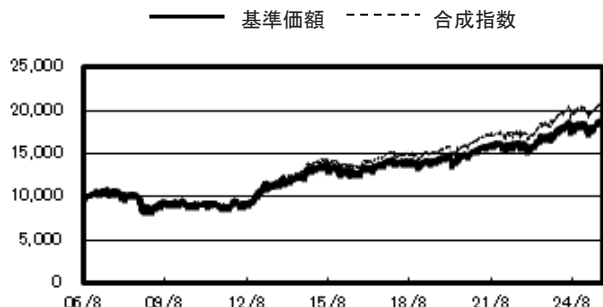
ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



## 【SMAM・バランスファンドVA25】

## ● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。  
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。  
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## ● 騰落率

|      | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 6ヵ月   | 1年    | 設定来*    |
|------|-------|-------|-------|-------|---------|
| ファンド | 1.41% | 3.19% | 5.48% | 5.20% | 88.81%  |
| 合成指数 | 1.46% | 3.32% | 5.87% | 5.86% | 109.17% |

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

\* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

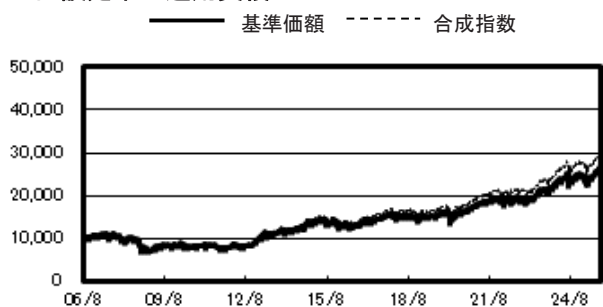
## ● マザーファンド組入比率

(2025年9月30日現在)

|      | ファンド  | 基本資産配分 |
|------|-------|--------|
| 国内株式 | 14.8% | 15.0%  |
| 外国株式 | 9.9%  | 10.0%  |
| 株式合計 | 24.8% | 25.0%  |
| 国内債券 | 39.9% | 40.0%  |
| 外国債券 | 35.0% | 35.0%  |
| 債券合計 | 74.9% | 75.0%  |

## 【SMAM・バランスファンドVA50】

## ● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。  
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。  
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## ● 騰落率

|      | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 6ヵ月    | 1年     | 設定来*    |
|------|-------|-------|--------|--------|---------|
| ファンド | 2.11% | 5.76% | 9.94%  | 10.79% | 162.93% |
| 合成指数 | 2.13% | 5.83% | 10.43% | 11.56% | 194.92% |

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

\* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

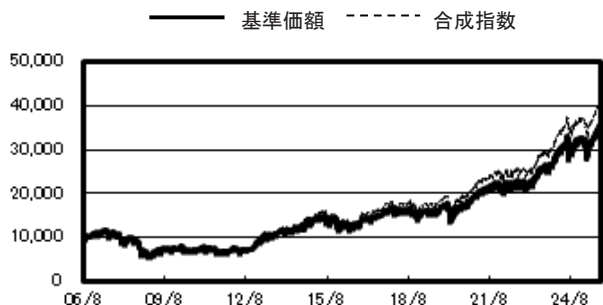
## ● マザーファンド組入比率

(2025年9月30日現在)

|      | ファンド  | 基本資産配分 |
|------|-------|--------|
| 国内株式 | 25.4% | 25.0%  |
| 外国株式 | 25.6% | 25.0%  |
| 株式合計 | 51.0% | 50.0%  |
| 国内債券 | 23.5% | 25.0%  |
| 外国債券 | 25.0% | 25.0%  |
| 債券合計 | 48.5% | 50.0%  |

## 【SMAM・バランスファンドVA75】

## ● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。  
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。  
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## ● 騰落率

|      | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 6ヵ月    | 1年     | 設定来*    |
|------|-------|-------|--------|--------|---------|
| ファンド | 2.86% | 8.54% | 14.92% | 17.30% | 255.09% |
| 合成指数 | 2.90% | 8.65% | 15.38% | 18.05% | 307.69% |

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

\* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

## ● マザーファンド組入比率

(2025年9月30日現在)

|      | ファンド  | 基本資産配分 |
|------|-------|--------|
| 国内株式 | 35.1% | 35.0%  |
| 外国株式 | 40.2% | 40.0%  |
| 株式合計 | 75.4% | 75.0%  |
| 国内債券 | 4.6%  | 5.0%   |
| 外国債券 | 19.6% | 20.0%  |
| 債券合計 | 24.3% | 25.0%  |

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

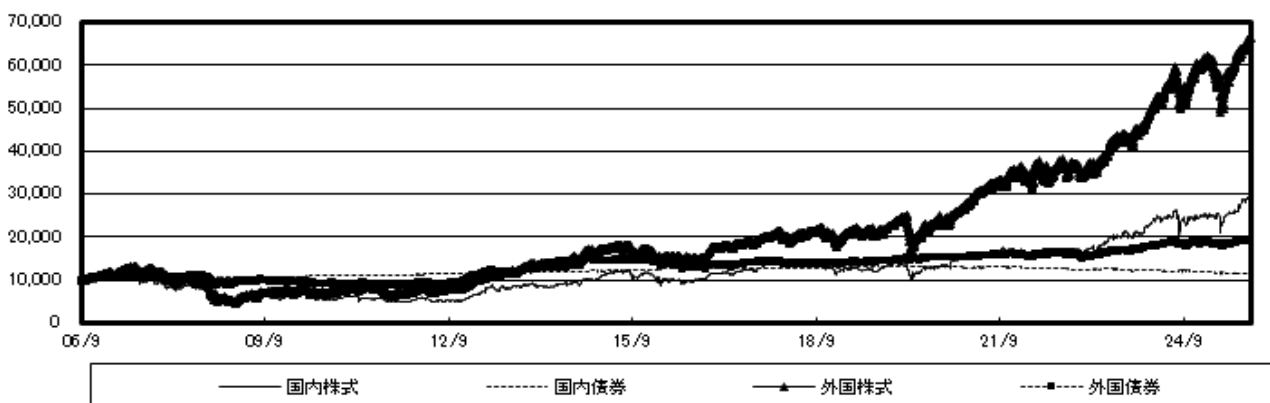


## 〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25、50、75〉

◎ SMAM・バランスファンドVA25、50、75は次のマザーファンドを主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用されています。

- 国内株式 … 国内株式インデックス・マザーファンド(B号)
- 国内債券 … 国内債券パッシブ・マザーファンド
- 外国株式 … 外国株式インデックス・マザーファンド
- 外国債券 … 外国債券パッシブ・マザーファンド

## ● マザーファンドの基準価額の推移



- 各マザーファンドの基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## ● 騰落率

|      |          | 1ヵ月    | 3ヵ月    | 6ヵ月    | 1年     | 設定来     |                              |
|------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|------------------------------|
| 国内株式 | ファンド     | 2.99%  | 11.06% | 19.43% | 21.60% | 192.06% | *1…TOPIX(東証株価指数、配当込み)        |
|      | ベンチマーク*1 | 2.98%  | 11.04% | 19.39% | 21.55% | 190.47% |                              |
| 国内債券 | ファンド     | -0.07% | -1.39% | -1.57% | -5.13% | 15.06%  | *2…NOMURA-BPI(総合)            |
|      | ベンチマーク*2 | -0.08% | -1.40% | -1.59% | -5.17% | 14.91%  |                              |
| 外国株式 | ファンド     | 3.67%  | 10.30% | 18.67% | 22.29% | 564.72% | *3…MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース) |
|      | ベンチマーク*3 | 3.67%  | 10.35% | 18.85% | 22.64% | 584.27% |                              |
| 外国債券 | ファンド     | 1.91%  | 3.53%  | 4.84%  | 7.05%  | 92.92%  | *4…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) |
|      | ベンチマーク*4 | 1.95%  | 3.58%  | 4.86%  | 7.16%  | 94.80%  |                              |

※ 設定来は2006年8月31日を基準とします。  
上記騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

※「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」は、「FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」に名称変更されました。  
※「Citigroup Index LLC」は、「FTSE Fixed Income LLC」に名称変更されました。

## ● マザーファンド純資産総額

(2025年9月30日現在)

|      | 純資産総額(百万円) |
|------|------------|
| 国内株式 | 450,071    |
| 国内債券 | 132,673    |
| 外国株式 | 1,124,532  |
| 外国債券 | 210,798    |

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

## SMAM・バランスファンドVA25,50,75のマザーファンド

ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



## 〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25, 50, 75〉 マザーファンドの状況(2025年9月30日現在)

### 【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

#### ● 組入上位10銘柄

|    | 銘柄名               | 比率   |
|----|-------------------|------|
| 1  | トヨタ自動車            | 3.4% |
| 2  | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 3.4% |
| 3  | ソニーグループ           | 3.3% |
| 4  | 日立製作所             | 2.2% |
| 5  | ソフトバンクグループ        | 2.1% |
| 6  | 三井住友フィナンシャルグループ   | 1.9% |
| 7  | 任天堂               | 1.8% |
| 8  | 三菱商事              | 1.5% |
| 9  | 三菱重工業             | 1.5% |
| 10 | みずほフィナンシャルグループ    | 1.5% |

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,628)

#### ● 組入上位10業種

|    | 業種名    | 比率    |
|----|--------|-------|
| 1  | 電気機器   | 17.5% |
| 2  | 銀行業    | 9.6%  |
| 3  | 情報・通信業 | 8.0%  |
| 4  | 卸売業    | 7.3%  |
| 5  | 輸送用機器  | 6.8%  |
| 6  | 機械     | 6.1%  |
| 7  | 化学     | 4.7%  |
| 8  | 小売業    | 4.5%  |
| 9  | サービス業  | 4.1%  |
| 10 | 医薬品    | 3.6%  |

※マザーファンド現物株式評価額対比

### 【外国株式】

マザーファンド名：外国株式インデックス・マザーファンド

#### ● 組入上位10銘柄

|    | 銘柄名                        | 国名   | 業種               | 比率   |
|----|----------------------------|------|------------------|------|
| 1  | NVIDIA CORP                | アメリカ | 半導体・半導体製造装置      | 5.8% |
| 2  | APPLE INC                  | アメリカ | テクノロジー・ハードウェア・機器 | 4.9% |
| 3  | MICROSOFT CORP             | アメリカ | ソフトウェア・サービス      | 4.7% |
| 4  | AMAZON.COM INC             | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り | 2.8% |
| 5  | META PLATFORMS INC-CLASS A | アメリカ | メディア・娯楽          | 2.1% |
| 6  | BROADCOM INC               | アメリカ | 半導体・半導体製造装置      | 1.9% |
| 7  | ALPHABET INC-CL A          | アメリカ | メディア・娯楽          | 1.8% |
| 8  | TESLA INC                  | アメリカ | 自動車・自動車部品        | 1.7% |
| 9  | ALPHABET INC-CL C          | アメリカ | メディア・娯楽          | 1.6% |
| 10 | JPMORGAN CHASE & CO        | アメリカ | 銀行               | 1.1% |

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,142)

#### ● 国別投資比率

| 国名   | 比率    |
|------|-------|
| アメリカ | 74.3% |
| イギリス | 3.7%  |
| カナダ  | 3.5%  |
| スイス  | 2.6%  |
| フランス | 2.5%  |
| その他  | 13.4% |

※マザーファンド株式評価額対比

### 【国内債券】

マザーファンド名：国内債券パッシブ・マザーファンド

#### ● 債券種別構成

|       |       |
|-------|-------|
| 国債    | 79.2% |
| 政府保証債 | 1.9%  |
| 地方債   | 8.8%  |
| 金融債   | 0.0%  |
| 事業債   | 8.8%  |
| 円建外債  | 0.0%  |
| その他   | 1.3%  |

※マザーファンド債券評価額対比

#### ● 残存年限別構成

|       |       |
|-------|-------|
| 1年未満  | 1.4%  |
| 1-3年  | 19.7% |
| 3-5年  | 17.8% |
| 5-7年  | 11.5% |
| 7-10年 | 17.6% |
| 10年以上 | 32.1% |

※マザーファンド債券評価額対比

#### ● 組入上位10銘柄

|    | 銘柄名       | 比率   |
|----|-----------|------|
| 1  | 471 2年国債  | 3.3% |
| 2  | 379 10年国債 | 1.5% |
| 3  | 378 10年国債 | 1.1% |
| 4  | 177 5年国債  | 1.0% |
| 5  | 375 10年国債 | 0.9% |
| 6  | 154 5年国債  | 0.9% |
| 7  | 179 5年国債  | 0.9% |
| 8  | 359 10年国債 | 0.9% |
| 9  | 373 10年国債 | 0.8% |
| 10 | 364 10年国債 | 0.8% |

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 443)

### 【外国債券】

マザーファンド名：外国債券パッシブ・マザーファンド

#### ● 通貨別構成

|            |       |
|------------|-------|
| アメリカドル     | 46.0% |
| ユーロ        | 30.0% |
| 中国元(オフショア) | 11.4% |
| イギリスポンド    | 5.6%  |
| カナダドル      | 2.0%  |
| その他        | 5.0%  |

※マザーファンド債券評価額対比

#### ● 残存年限別構成

|       |       |
|-------|-------|
| 1年未満  | 0.6%  |
| 1-3年  | 28.5% |
| 3-7年  | 34.2% |
| 7-10年 | 14.2% |
| 10年以上 | 22.4% |

※マザーファンド債券評価額対比

#### ● 組入上位10銘柄

|    | 銘柄名                                 | 通貨         | 比率   |
|----|-------------------------------------|------------|------|
| 1  | CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26 | 中国元(オフショア) | 0.7% |
| 2  | CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27 | 中国元(オフショア) | 0.6% |
| 3  | US TREASURY N/B 4.25 11/30/26       | アメリカドル     | 0.6% |
| 4  | CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51 | 中国元(オフショア) | 0.5% |
| 5  | CHINA GOVERNMENT BOND 1.46 05/25/28 | 中国元(オフショア) | 0.5% |
| 6  | US TREASURY N/B 3.875 05/31/27      | アメリカドル     | 0.5% |
| 7  | US TREASURY N/B 4.25 05/15/35       | アメリカドル     | 0.4% |
| 8  | US TREASURY N/B 4.625 02/15/35      | アメリカドル     | 0.4% |
| 9  | CHINA GOVERNMENT BOND 1.79 03/25/32 | 中国元(オフショア) | 0.4% |
| 10 | US TREASURY N/B 3.875 08/15/34      | アメリカドル     | 0.4% |

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 904)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、米国株式と米国債券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の株式と債券に分散投資を行います。  
② 市場環境に応じて株式と債券の投資比率を機動的に変更し、長期的に安定したトータル・リターン<sup>\*</sup>の獲得を目指します。  
③ 株式と債券のアナリストのリサーチ力を融合し、個別企業の調査・分析に基づき、魅力的な投資機会を追求します。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 60,443円

基準価額の推移

(2025年9月30日現在)



運用実績

(2025年9月30日現在)

|      | 1か月   | 3か月   | 6か月    | 1年     | 設定来     |
|------|-------|-------|--------|--------|---------|
| ファンド | 2.90% | 7.57% | 13.40% | 15.64% | 504.43% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率

(2025年8月31日現在)

|         | 対組入証券時価総額 |
|---------|-----------|
| 北米      | 98.37%    |
| ヨーロッパ   | 0.74%     |
| アジア・太平洋 | 0.08%     |
| その他     | 0.81%     |

- <sup>\*</sup>1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。  
<sup>\*</sup>2 割引債など利率が無い銘柄は「-」で表示しています。  
<sup>\*</sup>3 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。  
<sup>\*</sup>4 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

資産別構成比率

(2025年8月31日現在)

|         | 対純資産総額 |
|---------|--------|
| 株式      | 62.85% |
| 国債      | 8.20%  |
| 政府関連債   | -      |
| モーゲージ債等 | 12.36% |
| 投資適格社債  | 8.95%  |
| ハイイールド債 | 2.04%  |
| その他     | 3.90%  |
| 現金金等    | 1.70%  |

ファンドの概要

(2025年8月31日現在)

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 形態    | アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 |
| 設定日   | 2005年7月1日               |
| 純資産総額 | 10,124百万米ドル             |
| 保有銘柄数 | 661銘柄                   |

株式組入上位5銘柄 (対組入株式時価総額)

(2025年8月31日現在)

| 銘柄          | 業種 <sup>*1</sup> | 比率 <sup>*4</sup> |
|-------------|------------------|------------------|
| エスビディア      | 情報技術             | 9.86%            |
| マイクロソフト     | 情報技術             | 9.03%            |
| アマゾン・ドット・コム | 一般消費財・サービス       | 5.16%            |
| アルファベット     | コミュニケーション・サービス   | 4.77%            |
| アップル        | 情報技術             | 4.49%            |
| 上位5銘柄の合計    |                  | 33.31%           |

社債組入上位5銘柄 (対組入債券時価総額)

(2025年8月31日現在)

| 銘柄               | 利率 <sup>*2</sup> | 満期(年/月/日)  | 業種 <sup>*3</sup> | 比率 <sup>*4</sup> |
|------------------|------------------|------------|------------------|------------------|
| バンク・オブ・アメリカ      | 5.744%           | 2036/02/12 | 銀行               | 0.76%            |
| チャーター・コミュニケーションズ | 6.650%           | 2034/02/01 | 通信               | 0.61%            |
| CBREサービスズ        | 5.950%           | 2034/08/15 | 景気循環消費財          | 0.61%            |
| ロケット・カンパニーズ      | 6.375%           | 2033/08/01 | 金融会社             | 0.58%            |
| エーオン             | 5.450%           | 2034/03/01 | 保険               | 0.57%            |
| 上位5銘柄の合計         |                  |            |                  | 3.13%            |

株式組入上位5業種<sup>\*1</sup>

(2025年8月31日現在)

|                | 対組入株式時価総額 |
|----------------|-----------|
| 情報技術           | 35.58%    |
| 金融             | 17.54%    |
| 一般消費財・サービス     | 12.10%    |
| ヘルスケア          | 11.70%    |
| コミュニケーション・サービス | 11.63%    |

運用コメント

(2025年8月31日現在)

【市場概況】8月の米国株式市場は月間で上昇しました。前半は、労働市場の軟化を受けて下落して始まりましたが、その後利下げ期待が高まったことや、米消費者物価指数(CPI)が市場予想内だったことを受けてインフレへの過度な警戒感が和らいだことなどから反発しました。後半は、根強いインフレ懸念や人工知能(AI)需要の先行き不透明感から下落する局面もあったものの、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長の講演を受けて再び利下げ期待が強まり、上昇しました。米国債券市場では、月間で長期金利が低下しました。月初は、労働市場が軟化したことから、米国長期金利は低下しましたが、その後は米国債の入札が低調だったことを受けて月半ばまで上昇基調で推移しました。後半は、パウエル議長が利下げ再開の可能性を示唆したことなどから、長期金利は低下しました。

【運用概況】当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。株式部分では、金融やコミュニケーション・サービス・セクターなどがプラスに寄与した一方、情報技術や資本財・サービス・セクターなどはマイナスに影響しました。債券部分では、すべての債券種別がプラスに寄与し、特にモーゲージ債や投資適格社債が大きくプラスに貢献しました。

【運用方針】トランプ政権の関税政策については、各国との貿易交渉が進展し、不透明感は大幅に後退しています。雇用など経済指標の悪化を懸念する声もありますが、米国の企業財務や家計は比較的健全である一方、インフレ率は低下基調で推移していることから、当ファンドでは米国経済は緩やかに成長するという見方を維持しています。株式市場においては、多くの企業がAIを活用して生産性の向上や利益率の向上を図っていることから、関税引き上げなどによる業績への悪影響は相殺されると考えています。AIは未だ開発の初期段階にあると考えられることから、当ファンドでは半導体やクラウド、ソフトウェア企業など、AIに関連する分野に幅広く投資しています。また、旅行関連や電子決済関連の銘柄にも注目しています。債券市場では、景気見通しの改善を背景に社債や証券化商品の信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ利回り)は縮小しつつあり、割安感が後退しています。このような環境下、インカムの確保と下落リスクの抑制を意識しつつ銘柄を選別することが重要だと考えています。また、FRBによる利下げにより短期債の利回りは低下が予想される一方、財政赤字拡大の懸念が高まっていることから中長期債の利回りは高止まりが予想されます。こうした中、当ファンドでは短期年限の債券を多めに保有しています。今後も機動的に資産配分を調整し、リスク調整後リターン<sup>\*</sup>の獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

特別勘定の名称：グローバル不動産投信

## ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

ダブルウィング

## ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド<sup>\*</sup>への投資を通して、世界の不動産関連証券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に世界のREIT(不動産投資信託)および不動産関連株式に投資します。
- ② 安定した配当収益の獲得と、長期(5年以上)にわたる証券価格の上昇を目指します。
- ③ 世界経済の構造的変化を捉え、成長性が高いと判断する業種や銘柄を見極め、投資します。

<sup>\*</sup> 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・エクイティ・インカム・ファンドです。

基準価額 (2025年9月30日現在) 31,409円

## 基準価額の推移 (2025年9月30日現在)



## 運用実績 (2025年9月30日現在)

|      | 1カ月   | 3カ月   | 6カ月   | 1年    | 設定来     |
|------|-------|-------|-------|-------|---------|
| ファンド | 0.24% | 5.86% | 6.33% | 0.92% | 214.09% |

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

## 地域別構成比率 (2025年8月31日現在)

| (対組入証券時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 北米          | 73.85% |
| アジア・太平洋     | 17.92% |
| ヨーロッパ       | 8.23%  |
| その他         | —      |

## 種別構成比率 (2025年8月31日現在)

| (対組入株式時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 米国REIT      | 73.84% |
| 非米国REIT     | 25.41% |
| 米国不動産関連株式   | —      |
| 非米国不動産関連株式  | 0.75%  |

REIT組入上位5業種<sup>\*1</sup> (2025年8月31日現在)

| (対組入株式時価総額) |        |
|-------------|--------|
| 店舗用REIT     | 23.34% |
| 工業用REIT     | 20.58% |
| ヘルスケアREIT   | 16.57% |
| データセンターREIT | 6.51%  |
| 各種REIT      | 5.74%  |

<sup>\*1</sup> 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。<sup>\*2</sup> 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

## 運用コメント (2025年8月31日現在)

【市場概況】 8月の世界のREITおよび不動産関連株式市場は上昇しました。米国市場は上昇しました。上旬は、7月の米雇用統計が労働市場の軟化を示唆したことや長期金利の上昇が重しとなり、上値の重い展開となりました。中旬は、強弱入り混じったインフレ関連指標を受けて一進一退の動きとなりましたが、長期金利の低下や7月の米住宅着工件数が市場予想を上回ったことを受け、上昇に転じました。下旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長の講演や米大統領によるFRB理事解任報道を受けて利下げ観測が強まり、市場は続伸しました。欧州市場は下落しました。引き続き企業業績は堅調で、物件価格も上昇基調にあるものの、地政学的な不透明感や高水準の債券利回りが投資家心理を圧迫し、市場の下押し要因となりました。国・地域別では、日本やオーストラリアなどが上昇した一方、香港や英国などは低調でした。業種別では、ホテル・リゾートREITやトランクルームREITなどが上昇した一方、データセンターREITおよび不動産運営会社は低調でした。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。国・地域別では、米国や日本などがプラスに寄与した一方、英国および香港はマイナスに影響しました。業種別では、データセンターREITを除くすべての業種がプラスに寄与しました。中でも、店舗用REITや工業用REITが好調でした。

【運用方針】 マクロ経済の見通しには依然として不透明感があるものの、世界のREITおよび不動産株式市場のファンダメンタルズは引き続き堅調です。質の高い不動産に対する需要は根強いものの、金利の高止まりなどの影響で新規の供給が抑制され、需給の偏りが続く予想されます。こうした状況を背景に、不動産所有者は賃料の引き上げや稼働率の改善を通じて価格決定力を高め、収益性の向上を図っています。また、米国ではFRBによる利下げ観測が強まっており、オーストラリアも利下げ方針を示唆していることから、今後は金利の低下が下支え要因になることが期待されます。このような環境下、当ファンドは引き続き、強固なバランシートと優れた経営陣を有し、優良物件を備え、安定した配当が見込める銘柄を選択しています。また、構造的な変化から恩恵を受ける物件を所有するREITにも注目しています。具体的には、都市部への人口集中を背景に住宅地に隣接する商業施設を運営する小売REITや、医療需要の増加や高齢化を背景に安定した需要が見込まれる医療施設や高齢者向け住宅などが挙げられます。これらの分野は、今後も中長期的に安定した成長が期待されると見えています。今後も徹底したボトムアップ・リサーチにより、魅力的な投資機会の発掘に注力していく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうちの「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

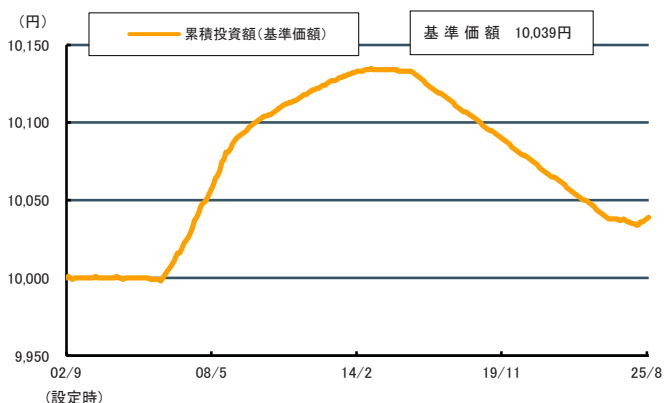
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

| 商品概要 |                          |
|------|--------------------------|
| 形態   | 追加型投信／国内／債券              |
| 投資対象 | 本邦通貨表示の公社債等              |
| 設定日  | 2002年9月20日               |
| 信託期間 | 原則無期限                    |
| 決算日  | 原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日) |

## 設定来の運用実績 (2025年9月30日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。

※基準価額は運用管理費用控除後のものです。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 累積リターン (2025年9月30日現在)

|      | 直近1ヶ月 | 3ヶ月   | 6ヶ月   | 1年    | 3年     | 設定来   |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ファンド | 0.01% | 0.03% | 0.05% | 0.01% | -0.16% | 0.39% |

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

## 過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

|                  |    |
|------------------|----|
| 第19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第22期(2023.11.30) | 0円 |
| 第23期(2024.12.02) | 0円 |

## 組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2025年8月29日現在)

|    | 銘柄                    | 種類 | 格付 | 比率    |
|----|-----------------------|----|----|-------|
| 1  | 1324国庫短期証券 2025/11/10 | 債券 | A  | 23.1% |
| 2  | 1315国庫短期証券 2025/09/29 | 債券 | A  | 22.3% |
| 3  | 1309国庫短期証券 2025/09/01 | 債券 | A  | 17.1% |
| 4  | 1325国庫短期証券 2025/11/17 | 債券 | A  | 17.1% |
| 5  | 1318国庫短期証券 2025/10/14 | 債券 | A  | 6.9%  |
| 6  | 1316国庫短期証券 2025/10/06 | 債券 | A  | 3.9%  |
| 7  | -                     | -  | -  | -     |
| 8  | -                     | -  | -  | -     |
| 9  | -                     | -  | -  | -     |
| 10 | -                     | -  | -  | -     |

(組入銘柄数：6)

上位10銘柄合計 90.4%  
(対純資産総額比率)

## ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

(2025年8月29日現在)

## 資産別組入状況

|        |       |
|--------|-------|
| 債券     | 90.4% |
| CP     | -     |
| CD     | -     |
| 現金・その他 | 9.6%  |

## 組入資産格付内訳

|            |         |       |
|------------|---------|-------|
| 長期債券<br>格付 | AAA/Aaa | -     |
|            | AA/Aa   | -     |
|            | A       | 90.4% |
| 短期債券<br>格付 | A-1/P-1 | -     |
|            | A-2/P-2 | -     |
| 現金・その他     |         | 9.6%  |

|        |        |
|--------|--------|
| 平均残存日数 | 47.15日 |
| 平均残存年数 | 0.13年  |

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス/マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

\* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

---

募集代理店

**PRESTÍA**

株式会社SMBC信託銀行

引受保険会社

**三井住友海上プライマリー生命保険株式会社**

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-125-104

<https://www.ms-primary.com>